

# 森の川自然散歩

2019年11・12月合併号

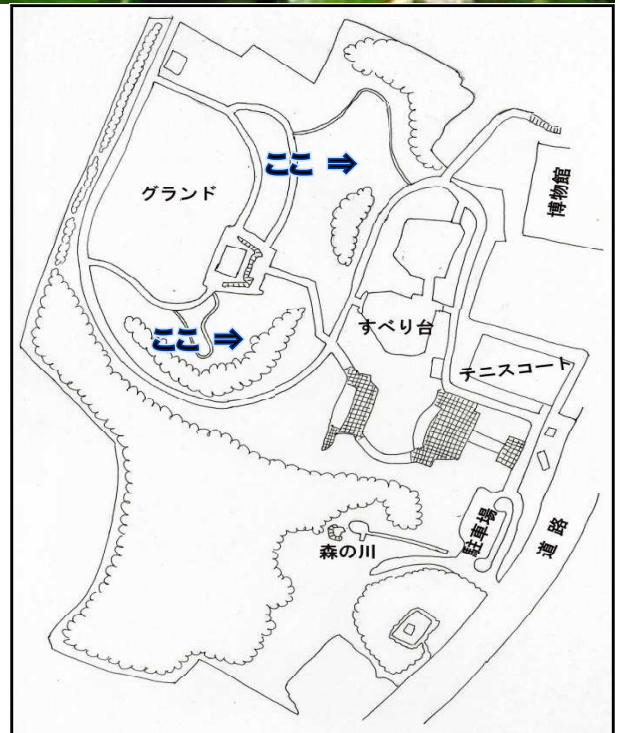


大きな瞳は、何を見ているの？

上：夜に大きなクワの木で食事をしているオリオオコウモリ。

## オリオオコウモリ（メモ）▶▶▶

- 沖縄では沖縄島とその周辺の島々、南北大東島、宮古島、石垣島、西表島などに生息しています。
- 沖縄のオオコウモリ類は、クビワオオコウモリという種類にまとめられることもありますが、島ごとに少しずつ違っていることから、沖縄島やその周辺の島にすむのはオリオオコウモリ、南北大東島にいるものはダイトウオオコウモリ、宮古島や八重山の島々にすんでいるのはヤエヤマオオコウモリと呼ばれています。このうち、ダイトウオオコウモリは国の天然記念物です。
- 昼間は枝陰や大きな葉の中で休んでいて、夕方になると飛び始めます。森川公園では、モクマオウのトンネルの場所や、森の川の泉の周りなどで見かけることがあります。



# 森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

## (33) どこへ行っちゃった？ サクララン



(上)：うす暗い森の中で咲いているサクラランの花（沖縄市にて）。

サクラランは常緑のツル植物で、九州南部から先島諸島まで分布しています。沖縄島では、石灰岩の森の中で、岩から垂れて花を咲かせている光景がよく見られます。森川公園でも何か所かに石垣があり、かつてはウガンヌカタの森の崖地や、広場手前の岩に生えているのを見たことがあります。

博物館に来てから、サクラランを目当てに公園を散歩しますが、まだサクラランに出会っていません。森川公園からはなくなってしまったのでしょうか。ウガンヌカタの森は、簡単には入れないので、最近の様子はよく分かりませんが、もしかしたら、まだどこかに残っているかもしれませんね。

# 森川公園11・12月の花ごよみ

## ～ クロツグ ～

- 奄美から先島諸島まで、生育しています。沖縄島では、石灰岩の森の中で、比較的うす暗い場所に生えています。春から夏にオレンジ色の花を咲かせ、夏から秋にオレンジ色や赤色の実をつけます。
- 森川公園では、入口左手の小高い森やウガンヌカタの後ろの森、上の広場下の斜面などで見られます。
- 葉は鳥の羽のような形をしていて、長さは1～3mくらいあります。昔はこの葉を編んで、家の壁にしました。



(右)：実が色づき始めたクロツグ（森川公園入口）。

博物館で森川公園の見取り図をもらって、  
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。  
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜1-25-1  
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

